

第3編

県民会議等の取組

第1章 / 概要

1 取組の基本的な考え方

県民会議では、G7広島サミットに参加する各国首脳や代表団、その他の多くの来訪者に広島の魅力に触れていただき、開催を通じて「広島に来てよかった」と思ってもらえるよう、また、参加者等を迎える県民にもこの機会に多くの方々に広島の良さを知っていただくことを通じて「広島で開催されてよかった」と思ってもらえるよう、G7広島サミットに関わる全ての人々に喜んでもらえるような開催を目指し、次の基本方針に掲げる5つの柱に基づき、全県的な取組を展開することとした。

【基本方針】

(1) 安全、安心で円滑なサミットの開催を目指します。(開催支援)

関係省庁や警察、医療機関など関係機関との調整を進め、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、サミットを安全、安心かつ円滑に開催できる環境を整えるよう全県を挙げて支援します。

(2) 市民・県民の誇りである広島らしさを感じていただきます。(おもてなし)

サミットの開催に向けて県内の歓迎機運を高め、サミットに参加する各国首脳とその関係者や国内外の報道関係者、サミットを契機に広島を訪れる方々に対して、県内市町や経済団体、さらにサミットに関わる人々等、幅広い主体が連携したオール広島で、SDGsの理念にも対応しながら、特別な広島とありのままの広島のそれぞれを実感できる、広島ならではのおもてなしでお迎えし、その結果、訪れる方のすべてに広島ファンになっていただきます。

(3) 「ヒロシマの心」を世界に向けて発信します。(平和の発信)

各国の首脳や報道関係者など、世界中から被爆地広島を訪れる多くの方々に、被爆の実相に直接触れていただく機会を提供することで、核兵器の恐ろしさに理解を深めていただくとともに、核兵器のない平和な世界を希求する「ヒロシマの心」を世界中に発信します。

あわせて、被爆の惨禍から目覚ましい復興を遂げた広島だからこそ感じられる、平和による繁栄のメッセージも届けます。

(4) 県民市民によって磨き上げられた広島の魅力を世界に発信します。

(広島の魅力の発信)

2つの世界遺産と1つの世界無形文化遺産をはじめ、活力あふれる産業やスポーツ・文化、多彩で美味しい山海の食資産、神楽等の伝統と豊かな自然が融合した文化など、先人たちが築き上げてきた広島の多くの魅力を世界に発信します。

(5) サミットの成果を未来につなぎます。(ポストサミットを見据えた若者の参画)

G7の首脳が直面する国際社会の諸課題について対話を行うサミットに関連する様々な取組に、未来を担う若者が関わる機会を提供することで、若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養します。また、国際問題に関心を持ち理解を深めた若者たちが今後の広島の手として自発的な行動を起こすことを後押しすることで、サミットの成果を未来につなぎます。

2 企業、団体等との協働の推進

(1) 応援する取組・協賛事業

G7広島サミット開催に向けて、全県的な取組を展開し、オール広島でのおもてなし・歓迎機運を醸成するため、県内外の企業や市民団体等に、県民会議が基本方針として掲げる5つの柱に関連するG7広島サミットを応援する取組、県民会議主催事業及び広島県や市町等との連携事業において活用する物品や役務、技術等の協賛を募集した。

応援する取組については、令和4年9月14日(水)から令和5年5月21日(日)(応募期間は4月30日(日)まで)にかけて、企業、市民団体等に自ら主体となって実施していただいた。既存イベントにおけるG7広島サミットのPR、幟や懸垂幕の作成、飲食店や小売店での応援フェアの開催、県民会議ロゴを使用した応援商品の開発、県民会議公式ポスターの掲示やチラシの配布などの様々な取組は、広くG7広島サミットを周知し、歓迎機運を醸成することにつながった。県民会議は各取組についてホームページやSNS等で広く発信するとともに、マスコミへの情報提供を行うことにより取材にもつなげた。

協賛については、令和4年9月14日(水)から令和5年4月30日(日)にかけて、県民会議事業への自社製品の提供や、広告枠やブース出展場所の無償提供、県民会議公式ポスターの増刷等の応募があり、これらを活用することにより、事業をより効果的かつ効率的に実施することができた。

県内外の企業や市民団体等から多くの応募をいただき、認定した件数は、応援する取組2,045件、協賛69件となった。(252ページ資料10参照)

(2) 寄附

G7広島サミットが開催されるに当たり、G7広島サミットを応援したい方の寄附を受け付けるため、企業、団体、個人を対象に寄附金を募集した。

寄附金の使途は、県民会議の基本方針に掲げる5つの柱に沿って、県民会議事務局が直接実施する事業に活用することとした。

募集期間は、令和4年10月19日(水)から令和5年5月31日(水)までとし、寄附金は41件で計1,498万6,000円となった。(302ページ資料13参照)

3 広報計画

県民等が、G7サミットへの理解を深めるとともに、おもてなし・歓迎の気持ちを有し、安全・安心かつ円滑な開催に協力しようという考えに至ってもらえるよう、開催周知、歓迎機運醸成、交通総量抑制などの広報を段階的に実施した。

【広報計画】

区 分	実施方針	主な発信内容
(1) 開催を認知してもらう (令和4年6月～12月)	G7サミットが広島で開催されるということについて認知度を高めるため、多様な広報媒体を活用し、開催日等を発信していくとともに、カウントダウンボードやポスター等の広報ツールを作成し、多くの人の目に触れる場で活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ G7サミットの広島開催 ・ 開催日等
(2) 理解を深める、参加してもらう (令和4年10月～令和5年5月)	G7サミットに関心を持った方に対して、広島開催の意義、開催のメリット等を理解してもらうとともに、おもてなし・歓迎機運の醸成を図るため、様々なイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ G7サミットとは ・ 広島開催の意義 ・ 開催のメリット等
(3) 当日に向けて準備してもらう(協力をお願いする) (令和5年2月～5月)	開催が迫る中、あらためて開催について周知するとともに、自主的な行動変容の創出につなげるため、広島県警察等と連携して、様々な媒体で、具体的な規制情報等を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関の運行情報 ・ 道路の交通規制 ・ 公共施設の休館
(4) 開催意義・成果を実感してもらう (令和5年6月以降)	広島でG7サミットが開催されてよかったと思ってもらえるよう、様々な媒体でサミットの成果(広島県産品の活用実績、県民の取組実績等)を発信していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ G7広島サミットの成果(広島県産品の活用実績、広島県民の取組実績、経済波及効果等)

第2章 / 開催支援

1 県産食材、県産品等の活用推進

G7広島サミットで広島県産品（以下「県産品」という。）を積極的に活用してもらうことで広島県の魅力を世界に発信できるよう、令和4年7月～9月にかけて広島県・広島市を通じて県内市町から県産食材、県産品等の情報を収集した。

収集した情報を広島県産品推薦リストとして取りまとめ、令和4年10月5日（水）に岸田総理及び林外務大臣に湯崎知事、松井広島市長、池田広島県商工会議所連合会会頭から手交し、G7広島サミットでの積極的な活用を依頼した。

県民会議では、県産品を、応援事業等でも広く活用してもらえるよう、広島県産品推薦リストをホームページに掲載するとともに、県民会議主催行事（先遣隊歓迎レセプション、政府高官歓迎レセプション、IMC内の広島情報センター）や関連事業においても県産品を積極的に活用した。

県民会議が把握可能な範囲では、外務省が実施した首脳会議、パートナーズ・プログラム等において少なくとも167品目、IMCのダイニング等において少なくとも61品目の県産食材が活用されるとともに、県民会議主催行事でも県産食材をふんだんに使用した料理を振る舞い、食のおもてなしを行った。

また、贈呈品や首脳会議用の円卓などG7広島サミットにおける様々な場面で県産品が活用された。



5/19（金）ワーキング・ディナー



5/20（土）夕食会・社交行事

【国に提出した広島県産品推薦リスト一覧（計1,345品・種類）】

リスト名
農産物リスト（野菜、果物、米等）（350品）
畜産物・水産物リスト（肉類、魚介類等）（130品）
加工食品リスト（調味料、麺、漬物、菓子類等）（408品）
飲料リスト（日本酒、ワイン、その他酒類、ノンアルコール飲料）（278品）
工芸品等リスト（伝統工芸品等）（139品）
花き花木推薦リスト（40種類）
説明資料（広島和牛、県産木材）

2 宿泊予約センターの設置

G7広島サミット開催に伴い来広するG7サミット関係者（各国代表団、日本政府関係者、報道関係者、警備関係者、消防関係者、支援事業者等）に対し、宿泊の安定的かつ効率的な確保を図り、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込・配宿・精算や宿泊者・宿泊施設へのサービス提供を行うため、県民会議が公認する「G7広島サミット宿泊予約センター」（以下「宿泊予約センター」という。）を設置した。

（1）業務内容

客室の確保、宿泊の申込受付、配宿、精算等のサービス提供

（2）実施事業者の選定

県民会議との協定の下、宿泊予約センターの運営を行う事業者を公募型プロポーザルにより選定した。
なお、本業務に係る必要経費については実施事業者が宿泊施設、宿泊者間の契約に基づく仲介手数料を得て賄われた。

（3）運営事業者

広島サミット宿泊予約センターコンソーシアム

（株式会社JTB広島支店（代表構成員）、近畿日本ツーリスト株式会社広島支店、株式会社日本旅行広島支店、東武トップツアーズ株式会社広島支店の4社によるコンソーシアム）

（4）取扱実績

宿泊予約センターは、令和4年9月1日（木）～令和5年8月31日（木）の間設置した。

宿泊予約センターを通じたG7サミット関係者の宿泊は、県内外で延べ約38万1千人、1日当たり最大約2万6千人であった。また、広島市、廿日市市、福山市など県内16市町その他、島根県浜田市、岡山県岡山市、山口県山口市など隣県13市町の約340施設を取り扱った。

【宿泊予約センターの取扱実績】

カテゴリー	延べ宿泊人数
各国代表団	約5,700
日本政府関係者	約4,600
報道関係者	約2,600
警備関係者等	約355,900
支援事業者等	約12,100
計	約380,900

※警備関係者等には、警察関係者、消防関係者、民間警備関係者を含む。

（5）宿泊施設説明会の開催

県内の宿泊施設等を対象に、令和4年9月13日（火）～22日（木）の間に県内4か所（広島市、呉市、福山市、三次市）で説明会を計8回開催し、163施設が参加した。宿泊予約センターの役割・機能や宿泊受入れに当たっての留意事項等について説明の上、客室提供への協力を依頼した。



宿泊施設向け説明会



報道関係者向け宿泊予約説明会

3 弁当供給センターの設置

G7広島サミットの開催に際し、広島市を中心に県内各地に配置される警備・消防・医療・現地スタッフ等に対し、安全で安心な食事を安定的に供給できるよう、県民会議が公認する「G7広島サミット弁当供給センター」（以下「弁当供給センター」という。）を設置した。

(1) 業務内容

弁当の受注、精算、弁当の製造・配送及び空容器等の回収の手配

(2) 実施事業者の選定

県民会議との協定の下、弁当供給センターの運営を行う事業者を、以下の方針等に基づき公募型プロポーザルにより選定した。

なお、本業務に係る必要経費については実施事業者が弁当の販売手数料を得て賄われた。

【募集・選定の方針等】

ア 県内事業者の参画

- ・ 弁当供給センターの運営事業者は広島県内に本店又は支店若しくは営業所を有する者であることを公募時の参加条件とした。
- ・ より多くの県内弁当製造・配送事業者が参画可能となる取組を評価基準の一つとすることにより、県内事業者の参画を促した。

イ 食品衛生管理体制

- ・ 以下の事項を仕様書に規定した。
 - (ア) 弁当製造事業者において、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理等のHACCPに沿った衛生管理が行われていることをあらかじめ確認すること
 - (イ) 提供する弁当について、広島県が定める食品等の微生物検査指導基準の目標値を達成するとともに、異物混入対策として金属探知機等での検査が実施されていることを確認すること
 - (ウ) あらかじめ管轄する保健所の食品衛生状況の確認を受けること

ウ 県産食材の活用

- ・提供する弁当に使用する米やその他食材は可能な限り県産の使用に努めることを仕様書に規定した。
- ・また、広島県農林水産局販売・連携推進課と連携し、弁当製造事業者に対して県産食材の試食商談会及びマッチングアドバイザーの活用に関する情報提供を行い、県産食材の活用促進に努めた。

エ 環境への配慮

- ・業務の実施に当たり、衛生管理等ともバランスを取りながら、可能な限り環境への配慮に取り組むこと及び環境への配慮に当たっては、使用する容器や附属品の素材、配送・回収時の運搬、回収された残渣・余剰弁当の処理、食品ロス削減等の観点から取り組むことを仕様書に規定した。

(3) 実施事業者

近畿日本ツーリスト株式会社広島支店

【協力を得た弁当製造・配送事業者】

イオンリテール株式会社、株式会社加茂川、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社千成、株式会社千鳥、東洋観光株式会社、株式会社浜吉、株式会社パンドラ（配送のみ）、広島駅弁当株式会社、株式会社ポプラ、丸美弁当株式会社、株式会社むさし、山崎製パン株式会社、株式会社リネット（配送のみ） ※五十音順で記載

(4) 供給実績

ア 供給期間

令和5年3月20日（月）から5月26日（金）まで

イ 供給数

約40万食（1日当たりの最大供給数は約34,500食）

【弁当供給センターの供給実績】

カテゴリー	弁当供給数
警備関係者等	約397,200
医療関係者	約1,600
支援事業者等	約1,600
計	約400,400

※警備関係者等には、警察関係者、消防関係者、民間警備関係者を含む。

ウ 活用県産食材

12品目（重複分を除く）

米、牛肉、豚肉、鶏肉、真鯛、煮干し魚類、こんにゃく、調味料等

エ メニュー

メニューの提供に当たっては、主要な弁当製造業者間でメニューを揃える、ご飯の量を統一するなど、弁当製造業者の違いによる内容の差をできる限りなくすように努めた。



弁当の例

(5) その他

弁当供給センターの枠組みとは別に、県外に宿泊する警備関係者への食事の提供のため、株式会社中央、株式会社フジマ、有限会社山和製麺により、約16,800食（1日当たり最大約1,600食）を供給した。

4 学生ボランティアの募集

広島を訪れるG7サミット関係者やイベント参加者のおもてなし対応、サミットに関わるイベント会場等での通訳などについて、大学生等を対象にボランティアを募集し、若者がG7広島サミットに関わる機会を提供した。

(1) 学生ボランティアの募集・決定

ア 募集内容

活動内容にあわせて、2つの区分（おもてなしボランティア及び通訳ボランティア）に分けて募集を行った。

(ア) おもてなしボランティア

活動場所：イベント会場、インフォメーションカウンター等

活動内容：県民向けイベント対応、G7サミット関係者（報道関係者等）に対するおもてなし（観光案内、交通案内、広島県の情報発信など）

(イ) 通訳ボランティア

活動場所：サミット関連のイベント会場等

活動内容：イベントなどでの通訳等

必要スキル：TOEIC785点又は実用英語技能検定準一級相当

イ 募集・決定方法

県民会議の会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在席している学生を募集対象とし、県民会議から、広島サミット協力大学協議会（大学協議会所属大学（21校）に加えて、運営母体と同じ短期大学3校を含む計24校）、短期大学1校、高等専門学校2校の計27校に対して学生の推薦を依頼した。

ウ 決定人数

各団体の推薦に基づき、20大学、1高等専門学校から、おもてなしボランティア72人、通訳ボランティア51人の計123人を学生ボランティアとして決定した。

(2) 活動結果

延べ406人（おもてなしボランティア263人、通訳ボランティア143人）が様々な活動に参加した。

ア 各種イベントでの活動

期 間：令和5年2月～5月

場 所：イベント会場等

内 容：県民対象イベントでのおもてなし（イベント受付・サミットPRブースの運営補助等）、パートナーズ・プログラム昼食会での配膳、G7広島サミット関連イベントでの通訳など

イベント数：33（おもてなし16、通訳15、共通2）

活動者数：延べ176人（おもてなしボランティア108人、通訳ボランティア68人）

イ 県民会議が設置したインフォメーションカウンターでの活動

期 間：令和5年5月16日（火）～22日（月）

場 所：3か所のインフォメーションカウンター（広島駅、広島空港、IMC）

内 容：G7サミット関係者へのおもてなし（観光案内、交通案内、広島県の情報発信）

活動者数：延べ100人（おもてなしボランティア94人、通訳ボランティア6人）

ウ IMCでの活動（イを除く）

期 間：令和5年5月18日（木）～22日（月）

場 所：IMC

内 容：ピーすくろの受付、試食試飲コーナーの対応など

活動者数：延べ130人（おもてなしボランティア61人、通訳ボランティア69人）

(3) 研修の実施

ア 基礎研修

日 程：令和5年2月11日（土・祝）14時10分～16時50分

会 場：広島平和記念資料館地下1階メモリアルホール

参加者：105人（おもてなしボランティア61人、通訳ボランティア44人）

内 容：挨拶や動作、言葉遣いといった接遇の基本や、ジェスチャーや食事への配慮等の国際儀礼などについてロールプレイを中心とした研修を行った。

イ 事前研修

日 程：令和5年4月22日（土）13時30分～16時30分

会 場：JMSアステールプラザ広島市国際青年会館研修室A・B・C

参加者：おもてなしボランティア63人

内 容：インフォメーションカウンターでの活動内容、ベジタリアンやムスリム等の対応、駅や路上で困っている人への対応、使えるフレーズなどについて研修を行った。

ウ 実践研修

日 程：第1回 令和5年4月28日（金）

第2回 令和5年4月29日（土・祝）

第3回 令和5年5月5日（金・祝）

第4回 令和5年5月6日（土）

第5回 令和5年5月12日（金）

第6回 令和5年5月13日（土）

各日 9時30分～12時00分

会場：広島駅構内2階南北自由通路

参加者：おもてなしボランティア27人（各日2～8人）

内容：広島駅で外国人旅行者を案内する市民主体の活動「Hello! Hiroshima Project（主催：一般社団法人Hello Hiroshima）」のメンバーと一緒に交通案内や観光案内を行うなど、現場で実践的な研修を行った。

エ 配膳研修

日程：第1回 令和5年4月23日（日）

第2回 令和5年4月30日（日）

第3回 令和5年5月7日（日）

第4回 令和5年5月14日（日）

会場：第1回・第2回 グランドプリンスホテル広島

第3回・第4回 宮島ブルワリー

参加者：おもてなしボランティア12人（パートナーズ・プログラムでの活動予定者）

内容：パートナーズ・プログラムでの配膳に向け研修を行った。

（4）結団式・解散式の実施

ア 結団式

日程：令和5年2月11日（土・祝）13時30分～13時50分

会場：広島平和記念資料館地下1階メモリアルホール

参加者：105人（おもてなしボランティア61人、通訳ボランティア44人）

内容：湯崎知事（県民会議会長）のビデオメッセージ

外務省G7広島サミット事務局北川事務局長のビデオメッセージ

学生ボランティア代表による決意表明

ユニフォームの贈呈（ユニフォームは第一生命保険株式会社からの協賛）

集合写真撮影

イ 解散式

日程：令和5年6月11日（日）10時30分～11時10分

会場：広島県庁講堂

参加者：76人（おもてなしボランティア48人、通訳ボランティア28人）

内容：湯崎知事（県民会議会長）挨拶

外務省G7広島サミット事務局溝渕副事務局長挨拶

感謝状贈呈

学生ボランティア代表による活動振返り

活動振返りビデオの上映

集合写真撮影



結団式集合写真



基礎研修



解散式集合写真

5 インフォメーションカウンターの設置

G7広島サミットの開催に当たり、G7サミット関係者（報道関係者、政府・国際機関関係者、警備関係者、支援事業者等）の利用が見込まれる交通結節点等にインフォメーションカウンターを設置し、学生ボランティア等による交通・観光等の案内及び広島の情報発信等を行った。

(1) 設置場所及び期間

設置場所	設置期間
IMC（広島情報センター内）	令和5年5月18日（木）～22日（月）
広島空港（国内線到着ロビー）	令和5年5月16日（火）～21日（日）
広島駅（南北自由通路2階）	令和5年5月16日（火）～22日（月）

(2) 業務内容

会場やホテルへの交通案内、観光案内、広島の情報発信等

(3) 運営体制

学生ボランティア（3～4人程度）ほか

(4) 活動者数

延べ100人（おもてなしボランティア94人、通訳ボランティア6人）

(5) 案内実績

計1,373件

（内訳）

- ・ I M C 122件
- ・ 広島空港 435件
- ・ 広島駅 816件



広島空港内のインフォメーションカウンター



広島駅構内のインフォメーションカウンター

6 住民説明会の開催等

警備関係者との連携のもと、G7広島サミット開催に伴う生活への影響についての理解と首脳等の訪問時における行事の安全・安心かつ円滑な開催への協力依頼を行うため、住民説明会を実施した。また、宮島の宿泊事業者に対してG7広島サミット期間中の宿泊予約の新規受付の停止等の協力を依頼した。

(1) 広島市

ア 住民代表者との意見交換（元宇品地区）

日 程：令和4年9月7日（水）10時00分～

参加者：元宇品町内会役員ほか 12人

内 容：県民会議事務局からの情報提供【広島サミット県民会議事務局】

広島県警察からの情報提供【広島県警察本部警備部サミット対策課・広島南警察署
警備課】

南区役所からの情報提供【広島市南区役所】

意見交換

イ 地元説明会（元宇品地区）

日 程：令和4年11月25日（金）15時00分～、19時00分～（計2回開催）

参加者：元宇品町の住民・元宇品町内に所在する事業者 計72人

内 容：県民会議事務局の取組状況について【広島サミット県民会議事務局】
広島県警察の取組状況について【広島県警察本部警備部サミット対策課・広島南警察署警備課】
海上警備の可能性について【第六管区海上保安本部】
道路環境整備について【広島市道路交通局道路課・広島県土木建築局広島港湾振興事務所】

ウ 住民代表者との会合

(ア) 宇品西地区社会福祉協議会

日 程：令和4年11月2日（水）15時30分～
参加者：宇品西地区社会福祉協議会役員 2人
内 容：県民会議事務局からの情報提供等

(イ) 宇品東地区社会福祉協議会

日 程：令和4年12月22日（木）18時00分～
参加者：宇品東地区社会福祉協議会役員 2人
内 容：県民会議事務局及び広島県警察からの情報提供等

(ウ) 宇品東連合町内会

日 程：令和5年1月27日（金）18時00分～
参加者：宇品東連合町内会役員 6人
内 容：県民会議事務局及び広島県警察からの情報提供等

(エ) 宇品西地区社会福祉協議会

日 程：令和5年3月10日（金）15時00分～
参加者：宇品西地区社会福祉協議会役員ほか 3人
内 容：県民会議事務局及び広島県警察からの情報提供等

エ 入域規制及び識別証等の申請方法等に関する地元説明会（元宇品地区）

日 程：令和5年3月27日（月）15時00分～、19時00分～（計2回開催）
参加者：元宇品町の住民・元宇品町内に所在する事業者 計204人
内 容：首脳会議場周辺の運用について【外務省G7広島サミット事務局】
識別証等の申請方法について【広島サミット県民会議事務局】
広島県警察からの情報提供等について【広島県警察本部警備部サミット対策課・広島南警察署警備課】
海上警備等への協力依頼について【第六管区海上保安本部】
医療体制について【広島市健康福祉局医療政策課】

オ G7広島サミットに関する説明会（宇品西地区社会福祉協議会）

※地元主催の説明会への出席

日 程：令和5年4月22日（土）10時00分～
参加者：宇品西地区住民代表者 38人
内 容：G7広島サミットの概要等について【広島サミット県民会議事務局】
広島県警察からの情報提供等について【広島県警察本部警備部サミット対策課】

カ 住民代表者への情報提供（平和記念公園周辺）

平和記念公園に隣接する10町内会の代表者に対し、G7広島サミット開催期間中における影響について、事前に情報提供を行った。

日 程：令和5年4月20日（木）、21日（金）



地元説明会（元宇品地区）



入域規制及び識別証等の申請方法等に関する地元説明会（元宇品地区）

(2) 廿日市市

ア 地元説明会の開催

日 程：令和5年3月8日（水）、9日（木）、
15日（水）いずれも19時00分～
（計3回開催）

参加者：宮島町内の住民及び事業者 計278人

内 容：G7広島サミットについて【広島サミット県民会議事務局】
想定される島内での行動制限について【広島サミット県民会議事務局】
広島県警察の取組状況について【広島県警察本部警備部サミット対策課】
海上警備の可能性について【第六管区海上保安本部】
識別証の発行手続きについて【廿日市市】



地元説明会（宮島町）

イ 宿泊事業者への協力をお願い

島内の宿泊事業者に対して、住民説明会後に3回にわたって新規予約停止と既存予約キャンセル等に関する依頼文を发出するとともに、宿泊事業者への個別調整を実施した。

<宿泊事業者への具体的な依頼>

【第一報（令和5年3月17日（金））】

- ・令和5年5月18日（木）及び19日（金）の新規宿泊予約の停止のお願い
- ・同期間の既存宿泊予約者への廿日市市が発表した規制内容の周知のお願い

【第二報（令和5年4月17日（月））】

- ・住民用識別証の運用期間の確定
- ・島内での各種規制の既存宿泊予約者への周知のお願い（日本語版・英語版）

【第三報（令和5年4月24日（月））】

- ・既存宿泊予約者のうち、連絡が取れない人への一時識別証の発行方針
- ・サミット期間内の既存宿泊予約者数の調査

7 地元関係者への識別証等の発行及びフェリー減便への対応等

G7広島サミットの開催に当たり、主会場のある元宇品地区やIMC、訪問先となった宮島等において警戒警備を目的とした入域・入島規制が実施された。これに伴い、当該地区の住民・事業者や自治体職員等に対し、入域時の負担軽減及び警戒警備強化のため、外務省から識別証及び車両証（以下「識別証等」という。）が発行された。また、G7広島サミット期間中の宮島への入島規制に伴って実施されるフェリーの減便による住民及び事業者への影響を軽減するとともに、観光客への入島規制内容の積極的な周知や、入島規制を知らずに宮島口に来訪した観光客への対応等を行った。

(1) 識別証等の発行

ア 元宇品地区

(ア) 対象

元宇品地区の住民及び事業者（島外関係者を含む）

(イ) 識別証等運用期間

令和5年5月15日（月）15時00分～21日（日）17時45分

(ウ) 発行数

識別証 3,347件

車両証 2,170件

イ IMC及び平和記念公園

(ア) 対象

県民会議事務局職員、広島県及び広島市職員

(イ) 識別証等運用期間

IMC 令和5年5月18日（木）10時00分～22日（月）12時00分

平和記念公園 令和5年5月18日（木）18時00分～21日（日）20時05分

(ウ) 発行数

識別証 1,662件

車両証 63件

ウ 宮島

(ア) 対象

宮島島内の住民、通勤通学者及び関係事業者

(イ) 識別証等運用期間

令和5年5月18日（木）12時00分～20日（土）14時00分

(ウ) 発行数

識別証 3,108枚

車両証 231枚



識別証（平和記念公園）見本



識別証（宮島）見本



チェックポイント（元宇品地区）



入域規制（元宇品地区）

（2）フェリー減便への対応

ア 住民、事業者への対応

宮島口から宮島桟橋までの間で定期航路を持つ旅客船会社と住民や事業者に大きな影響が出ないように、フェリーの減便ダイヤの調整を行った。

警察の緊急車両や外務省をはじめとしたG7サミット関係者用の車両などを計画的に運搬できるように、フェリー臨時便の運航計画についても、JR西日本宮島フェリー株式会社及び宮島松大汽船株式会社と調整を行った。

また、廿日市市においては、住民等のフェリー待機場所とするため、宮島コーラルホテル1階会議室及びフロント前に待合所を開設した。

イ 観光客への対応

宮島島内への入島規制を周知するため、広島への観光やG7広島サミットに興味がある人へのリスティング広告などによるWeb広報の実施（閲覧数405,124件）、西日本旅客鉄道株式会社の協力による東海道・山陽新幹線やJR西日本主要駅、ジャパンレールパス発券駅でのポスターやチラシでの周知、廿日市市ホームページへの掲載（日本語及び英語・閲覧数98,372件）、動画の制作（YouTube動画・閲覧数約5,000回）、G7広島サミット期間中の各種規制に関するチラシの作成及び宮島町住民への配布（760世帯）などを行った。また、入島規制を知らずに宮島口まで来た観光客に対し、外国語案内ボランティア等を配置し、入島できない旨の説明等を行った。



待合所の様子

外国人に説明する
廿日市市国際交流協会ボランティア

(3) 元宇品地区住民等の移動支援

G7広島サミットの開催に伴い元宇品地区の入域規制が予定された期間中、区内を走る唯一の路線バスの運行経路のうち一部の区間（広島港～グランドプリンスホテル広島間）が運休となったほか、路面電車についても地区直近の停留場（元宇品口）が使用停止（電車が通過）となった。

このため、代替の交通手段として無料のシャトルバスを臨時に運行し、住民の方々の負担軽減を図った。

8 贈呈品

各国首脳及び国際機関の長等へ歓迎の意を表するとともに、広島の魅力を国内外へ発信するため、県民会議及び開催都市である広島市から、それぞれ広島県や広島市のゆかりの品を、その作品や制作者の紹介等を記載した目録、広島県のゆかりの梱包品等とあわせて、外務省を通じてお渡しした。

また、先遣隊代表者に対しては県民会議主催の歓迎レセプションで贈呈した。

(1) 贈呈品の選定

選定に当たっては、「広島県の歴史や文化、伝統を感じられるものであること」「SDGsの考え方に配慮したものであること」という観点から候補品を取りまとめ、県民会議企画運営部会で委員の意見を伺った後、最終決定した。

(2) 贈呈先及び贈呈品の内容

ア G7首脳宛て

<県民会議からの贈呈品>

品物：陶芸作品（花瓶）

作品名：象嵌彩窯変 海老 花瓶（ぞうがんさいようへん えび かびん）

制作者：今井政之氏 ※広島県名誉県民、竹原市名誉市民、文化勲章受章者

梱包：有栖川文様の綿布（デザイン：今井政之氏）

府中桐箱…制作：浦上桐工芸株式会社（府中市）

阿字和紙…制作：一般社団法人協和元気センター（府中市）

<開催都市（広島市）からの贈呈品>

品物：広島漆芸の作品（酒器セット）

作品名：伝（でん）

制作者：高山尚也氏 ※「広島漆芸－高山尚也」として「ザ・広島ブランド」認定

イ 招待国首脳及び国際機関の長宛て

<県民会議からの贈呈品>

品物：玉鋼ペーパーナイフ

作品名：和永（わながく）

制作者：三上貞直氏 ※広島県無形文化財保持者（日本刀製作技術）、無鑑査刀匠

梱包：府中桐箱…制作：浦上桐工芸株式会社（府中市）

箱書：[表（作品名）] 県立熊野高等学校芸術類型書道コースの生徒
（熊野町）

[裏（作者名）] 三上貞直氏自書

眞田紐……製造：有限会社藤井リボン工場（福山市）

手ぬぐい…製造（折り鶴レーヨン）：山本株式会社（広島市）

デザイン：木版アートユニットポロンパ（北広島町）

型染め：有限会社豊栄堂染工場（北広島町）

ウ 各国先遣隊代表者宛て

<県民会議からの贈呈品>

品物：伊久馬ビアカップ つぼ型（大）

製造元：株式会社西井製作所（海田町）



象嵌彩窯変 海老 花瓶（ぞうがんさいようへん えびかびん）



象嵌彩窯変 海老 花瓶（梱包）



伝（でん）



和永（わながく）



伊久馬ビアカップ つぼ型（大）

9 先遣隊歓迎レセプションの開催

G7各国及び招待国の政府関係者等による現地視察を機に、広島食材を生かした料理や酒、伝統芸能の披露等によるおもてなしで歓迎するとともに、広島の魅力を発信し、本国等に伝えていただくことを目的として、先遣隊歓迎レセプションを開催した。

【先遣隊歓迎レセプション開催一覧】

日程	対象	参加者数	アトラクション
令和5年 2月8日(水)	在京大使館(G7各国)	23人	・被爆バイオリンを使用した弦楽四重奏 (広島交響楽団メンバー) ・琴演奏
3月14日(火)	EU	30人	—
4月4日(火)	カナダ	22人	神楽(安芸高田市合同神楽団)
4月25日(火)	フランス、英国	55人	神楽(雄鹿原上組神楽団(北広島町))
4月27日(木)	ドイツ、イタリア	55人	神楽(松原神楽団(安芸太田町))
5月2日(火)	オーストラリア、ブラジル、インド、 インドネシア、韓国、ベトナム、国際連合、 国際通貨基金、世界銀行	84人	やっさ踊り(三原市)



歓談の様子



神楽実演



お好み焼アカデミーによる実演

10 G7首脳等に対する歓迎行事等

(1) 広島空港における歓迎

G7広島サミットに参加するために来広したG7及び招待国の首脳並びに国際機関の長の方々に
対し、外務副大臣等と共に広島空港で出迎えや見送りを行った。

【出迎え】

広島空港では、各国首脳等に歓迎の意を表するため、政府が実施する出迎えに積極的に協力した。地元の代表として、中本広島県議会議長、緒方同副議長、田邊広島県副知事、玉井同副知事、母谷広島市議会議長、前（すすめ）広島市副市長、及川同副市長が交代で出迎えを行った。また、ポストサミットを見据えた若者参画の観点から、一部の歓迎において県内の学生ボランティアや空港地元自治体である三原市の「三原ミスやっさ」が花束を贈呈した。

<出迎えを行った首脳等（到着順）>

ア G7首脳

5月18日（木） メローニ首相（イタリア）、トルドー首相（カナダ）、ショルツ首相（ドイツ）、スナク首相（英国）、ミシェル欧州理事会議長（欧州連合）、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長（欧州連合）

5月19日（金） マクロン大統領（フランス）

イ 招待国首脳、国際機関の長

5月18日（木） ブラウン首相（クック諸島）、ルーラ大統領（ブラジル）

5月19日（金） アルバニージー首相（オーストラリア）、チン首相（ベトナム）、尹（ユン）大統領（韓国）、ジョコ大統領（インドネシア）、オコンジョ=イウェアラ事務局長（世界貿易機関）、モディ首相（インド）、ゲオルギエヴァ専務理事（国際通貨基金）、グテーレス事務総長（国際連合）、ビロル事務局長（国際エネルギー機関）

5月20日（土） アザリ大統領（コモロ）、コーマン事務総長（経済協力開発機構）



ショルツ首相を出迎える中本広島県議会議長



ジョコ大統領を出迎える母谷広島市議会議長



マクロン大統領を出迎える
緒方広島県議会副議長



フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長を
出迎える前（すすめ）広島市副市長

【見送り】

広島空港において政府代表者と共に、地元の代表として、中本広島県議会議長、田邊広島県副知事、玉井同副知事、母谷広島市議会議長、前（すすめ）広島市副市長、及川同副市長が感謝を込めて、広島を離れる首脳等を見送った。

<見送りを行った首脳等（出発順）>

ア G7首脳

5月21日（日） ショルツ首相（ドイツ）、マクロン大統領（フランス）、スナク首相（英国）、ミシェル欧州理事会議長（欧州連合）、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長（欧州連合）、トルドー首相（カナダ）

イ 招待国首脳、国際機関の長

5月21日（日） マルパス総裁（世界銀行）、アルバニージー首相（オーストラリア）、モディ首相（インド）、オコンジョ＝イウェアラ事務局長（世界貿易機関）、ピロル事務局長（国際エネルギー機関）、尹（ユン）大統領（韓国）、コーマン事務総長（経済協力開発機構）、グテーレス事務総長（国際連合）、ジョコ大統領（インドネシア）、ブラウン首相（クック諸島）、アザリ大統領（コモロ）、チン首相（ベトナム）

5月22日（月） ゲオルギエヴァ専務理事（国際通貨基金）、ルーラ大統領（ブラジル）

（2）ホテルにおける歓迎

G7広島サミットに伴い来広したG7及び招待国の首脳並びに国際機関の長に対し歓迎の意を表するとともに、県産品のPRをするため、宿泊部屋に県産品の飲料及び菓子類をウェルカムメッセージ等を添えて差し入れた。

【差入品一覧】

- ・ウェルカムメッセージ
- ・木製しおり
- ・本州一無濾過純米酒 300ml（合名会社梅田酒造場）

- ・ SINGLE MALT JAPANESE WHISKY 桜尾 700ml (株式会社サクラオブルワリーアンドディスティラリー)
- ・ SAKURAO GIN ORIGINAL 100ml (株式会社サクラオブルワリーアンドディスティラリー)
- ・ 世羅なしサイダー 250ml
(広島県果実農業協同組合連合会)
- ・ 藻塩レモン水 500ml
(広島県果実農業協同組合連合会)
- ・ 鶴亀もなか 小倉・挽茶
(株式会社御菓子所高木)
- ・ 海鮮しばり焼牡蠣 (巴屋清信有限会社)
- ・ こいカル (広島魚市場株式会社)



宿泊部屋への差入品

(3) 宮島における歓迎

G7首脳や配偶者の宮島への訪問に地元の歓迎の意を表するため、宮島3号桟橋前広場において歓迎行事を実施した。

【出迎え】

ア G7首脳

5月19日(金)

松本廿日市市長、新田廿日市市議会議長、宮島学園児童・生徒19人

イ 配偶者

5月20日(土)

松本廿日市市長夫妻、新田廿日市市議会議長、宮島学園児童・生徒14人

<行事の概要>

- ・ 宮島学園児童・生徒による手旗振り
- ・ 廿日市市長及び廿日市市議会議長等による歓迎
- ・ 宮島学園児童・生徒による廿日市市産バラの花束贈呈



歓迎の様子

11 政府高官歓迎レセプションの開催

広島に滞在するG7各国等サミット関係者（G7各国、招待国、国際機関の政府関係者）の方々に対して、歓迎・おもてなしを行うとともに、広島の魅力を発信するため、歓迎レセプションを開催した。

広島の食材を生かした料理や酒を提供するとともに、伝統芸能等の披露等によるおもてなしを行い、県内各市町のPRブースを設けて広島の魅力を発信した。

（1）日程

令和5年5月18日（木）19時30分～21時30分

（2）場所

広島コンベンションホール

（3）参加者

161人（G7各国等サミット関係者37人、国内参加者124人）

（4）プログラム概要

主催者挨拶	湯崎知事（県民会議会長）
乾杯	松井広島市長（県民会議副会長）
アトラクション	神楽（鈴張神楽団（広島市））
中締め	池田広島県商工会議所連合会会頭（県民会議副会長）

（5）その他

県内各市町のPRブースの設置や、広島PR動画の放映、茶道体験を行った。



神楽実演



歓談の様子

12 国際メディアセンターの設置支援

G7広島サミットの取材を行う各国報道関係者の拠点となるIMCの設置に当たり、県民会議では、総合体育館の指定管理者及び所管する広島県スポーツ推進課と調整を行うとともに、周辺施設の管理者とも調整を行うなど外務省に対して必要な支援を行った。

(1) 設置期間

令和5年5月18日（木）10時00分～22日（月）12時00分

(2) IMC内の主な施設

施設名	設置場所
共用ワーキングスペース	大アリーナ
国際放送センター	大アリーナ
記者レポートポイント	大アリーナ
ダイニングスペース	本館1階ホール、フィットネスプラザ、プール
邦人プレス・ワーキングルーム	小アリーナ
邦人プレス・ブリーフィングルーム	小アリーナ
政府広報展示スペース	武道場、弓道場
広島情報センター	本館地下1階ロビー、スポーツ情報センター等

(3) 利用実績

延べ約1万人



エントランス



共用ワーキングスペース

13 政府関係者、報道関係者の移動支援

(1) ぴーすくるによる移動支援

G7広島サミットの開催に際し、G7サミット関係者（国内外の政府関係者、報道関係者等）の移動手段の一つとして、外務省が実施したシャトルバスによる移動支援を補完するとともに、G7サミット関係者の近距離移動の利便性や回遊性を高めることで、広島の魅力に触れていただく機会を創出するため、環境負荷に配慮した広島市シェアサイクル「ぴーすくる」（電動アシスト自転車）を提供した。

IMC近隣の中央公園ファミリープールに臨時サイクルポートを設置し、県外などから臨時調達したぴーすくる200台を配置した。また、中央公園ファミリープール切符売場を受付窓口とし、G7サミット関係者には無料でICカードパス、ヘルメット、スマートフォンホルダーの貸し出しを行った。

なお、受付窓口では、学生のおもてなしボランティアがパスの管理や利用案内等の補助業務を担った。

また、ぴーすくるを活用して交通総量抑制対策等と呼び掛ける広報をあわせて実施した。



ぴーすくるの臨時ポート



交通総量抑制対策と呼び掛ける
ドレスガードを設置したぴーすくる

(2) 臨時ヘリポートの整備

宮島包ヶ浦自然公園内のグラウンドに夜間離発着にも対応可能な臨時ヘリポートを国が設置するに当たり、中国電力ネットワーク株式会社及び廿日市市と連携し、地元調整や不要物の撤去、夜間離発着時に障害となる電柱への航空障害灯の設置を行った。特に、電柱への航空障害灯の設置については前例のない作業であったが、中国電力ネットワーク株式会社の全面的な協力により実現し、この臨時ヘリポートは米国のバイデン大統領夫妻が宮島を訪問した際に使用された。



臨時ヘリポート



航空障害灯

14 NPO／NGOとの連携

G7広島サミットの開催においては、NPO／NGO等により様々な取組が行われ、県民会議では、以下のとおり、各団体と連携した。

(1) 「みんなの市民サミット2023」への出席

国内外の市民社会組織等が社会課題に対する理解、市民の参加、NPO／NGO等のアクション、ステークホルダーとの連携、政府への提言等を促すため、「みんなの市民サミット2023」がみんなの市民サミット2023実行委員会（事務局：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター）主催（県、広島市及び県民会議後援）により広島国際会議場で令和5年4月16日（日）～17日（月）に開催された。会議期間中に開催された行事には、来賓として、県、広島市、外務省、県民会議の代表者が出席した。

会議では、気候変動や災害、持続可能な開発目標（SDGs）、格差など17のテーマで分科会が開かれ、多くの市民社会組織が参加して議論が行われた。

(2) Y7サミット代表団の広島訪問

G7サミットの開催前には、G7各国政府への政策提言等を行うため、エンゲージメントグループと呼ばれる公式の民間団体が組織されており、このうち、若者で組織されたY7について、G7広島サミットへの政策提言に先立ち代表団が広島を訪問し、県民会議では、平和プログラム及び地元の若者との意見交換を行う機会等の提供を行った。

サミットこぼれ話

G7広島サミットを終えて、「広島でサミットが開催されてよかった」との声をいただきました。ここでは、事業者の方々の声をご紹介します。

- ・サミット前後で、特に海外からの観光客が増加したと感じている。今後もこの状況が継続してほしい【運輸関係】
- ・開催に伴う調整で経営的には損失もあったが、サミットが開催されてよかった【興行関係】

また、サミットの警備に当たった広島県警察と地元住民の心温まるエピソードをご紹介します。

広島県警察がサミット警備の拠点とするために設置した「広島南警察署元宇品町臨時警備警察官派出所」の閉所式（令和5年6月2日（金））での出来事です。

地元住民の方々や広島県警察関係者が出席された式では、地元保育園児から派出所に勤務していた警察官に対して、感謝の言葉とともに花やメッセージカードがサプライズで手渡されました。子供たちからの素敵なプレゼントに警察官も笑顔が絶えませんでした。

多くの県民・事業者の皆様が、今回のサミット開催を好意的に受け止めてくださっていると実感し、県民会議事務局スタッフも「広島で開催されてよかった」と心から思っています。



第3章 / おもてなし

1 カウントダウンボード等の製作・設置

G7広島サミット開催に向けて、県民等の認知度向上と歓迎機運の醸成を図るため、開催までの残日数を示すカウントダウンボード等を製作・設置した。一部のカウントダウンボードは、製作等を通じ、若い世代のサミットへの関心を高めるため、県内の高等学校に製作を依頼した。

(1) カウントダウンボード

カウントダウンボードを8台製作し、県内の交通結節点等へ設置した。うち7台については、県内のデザインや工業技術を学ぶ高校生の協力を得て製作するとともに、その様子をマスメディアに公開し、広く認知度向上、歓迎機運の醸成を図った。

また、全てのカウントダウンボードの設置時に除幕式を実施した。

高校生が製作したカウントダウンボードについては、サミットとの関わりを残すとともに、国際感覚やチャレンジ精神を涵養してもらえるよう、閉幕後は製作校へ提供した。

製作	設置場所	設置日
県民会議	J R 広島駅	令和4年10月30日(日)
県立広島工業高等学校	広島空港	令和4年12月11日(日)
県立宮島工業高等学校	宮島口旅客ターミナル	令和4年12月18日(日)
広島市立広島工業高等学校	広島バスセンター	令和4年12月23日(金)
県立福山工業高等学校	J R 福山駅	令和5年2月5日(日)
県立府中東高等学校	府中市役所	令和5年2月8日(水)
県立総合技術高等学校	J R 三原駅	令和5年2月12日(日)
県立呉工業高等学校	大和ミュージアム	令和5年2月18日(土)

上記のほか、国においてもカウントダウンボードが製作され、令和5年1月5日(木)に点灯式が実施された。



県民会議



県立広島工業高等学校



県立宮島工業高等学校



広島市立広島工業高等学校



県立福山工業高等学校



県立府中東高等学校



県立総合技術高等学校



県立呉工業高等学校

(2) 卓上日めくりカウントダウンボード

折り鶴再生紙で卓上型の日めくりボードを製作し、県民会議構成団体へ配付した。ボードは各構成団体事務所にて、サミット終了まで配架した。

製作数：110個

設置場所：県民会議構成団体事務所

設置期間：令和5年1月24日（火）～5月



卓上日めくりカウントダウンボード

(3) デジタルサイネージ

デジタルサイネージを活用し開催までのカウントダウンを実施したほか、おもてなし動画や一般社団法人広島県観光連盟が製作した魅力発信動画も放映した。

設置数：15台

設置場所：広島県庁、広島市役所本庁舎、広島市内の各区役所、広島国際会議場、広島商工会議所ビル、広島港宇品旅客ターミナル、JR尾道駅、TAU（東京都）

設置期間：令和5年1月23日（月）～5月27日（土）



デジタルサイネージ（TAU）

2 G7広島サミットフォーラムの開催

県民がG7サミットの趣旨や広島開催の意義、開催の効果等について理解を深めるとともに、歓迎機運を醸成するため、G7広島サミット開催150日前節目イベントとして、G7広島サミットフォーラムを株式会社中国新聞社と共催で開催した。

(1) 日程

令和4年12月6日（火） 13時30分～16時30分

(2) 会場

広島国際会議場フェニックスホール

(3) 実施内容

【あいさつ】

湯崎 英彦（県民会議会長 広島県知事）

【基調講演】

池上 彰氏（ジャーナリスト）

○テーマ

「広島サミットの役割や意義」

○主な内容

サミットの歴史等を説明後、「世界の首脳が広島に集まり、平和への決意を固めるのが大事」であり、G7広島サミットが「原爆投下時、広島に何が起きたかを見せる絶好のチャンスになる」と強調された。

【パネルディスカッション】

○テーマ

「広島でサミットが開催される意義」「企業や地域への波及効果」など

○スピーカー

- ・池上 彰氏（ジャーナリスト）
- ・ファン・デル・ドゥース瑠璃氏（広島大学平和センター准教授）
- ・宇田 貴美氏（一般社団法人福山青年会議所直前理事長）
- ・西尾 新氏（一般社団法人志摩市観光協会会長）

○コーディネーター

- ・金崎 由美氏（中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長）

○主な内容

参加者に自ら広島サミットに主体的に関わることや、被爆の実態と広島の高さの発信を呼びかけた。

○その他

令和4年12月20日（火）の中国新聞朝刊に概要記事を掲載するとともに、県民会議ホームページ上に当日の動画を公開した。

(4) 参加者数

約1,300人（※抽選実施 申込者数2,514人）



池上彰氏基調講演



パネルディスカッション

3 プレイベント（G7広島サミット直前スペシャルスプリング）の開催

県民が開催地である広島に誇りを持ち、G7サミットや参加国に対する理解を深めるとともに、歓迎・開催機運を醸成するため、G7広島サミット開催50日前（令和5年3月30日（木））を基軸に、G7広島サミット直前スペシャルスプリングと題して、様々なイベントを開催したほか、集客イベントでのステージPR・ブース出展等を行った。

(1) 第10回広島みなとフェスタ ブース出展&ステージPR

日 程：令和5年3月18日（土）・19日（日）

会 場：広島みなと公園

内 容：

【ブース出展】

SNSフォロワー抽選会、サミットパネル展、折り鶴ワークショップ、クイズ&アンケート、モザイクアート写真撮影会、ご当地キャラクター記念撮影&観光パンフレットのサンプリング

【ステージPR】

ご当地キャラクターショー

来場者数：イベント全体約75,000人 ブース来場1,241人



ブース出展



ご当地キャラクターショー

(2) G7サミットウェルカムコンサート&物産展

日 程：令和5年3月21日（火・祝）

会 場：紙屋町シャレオ 中央イベント広場

内 容：

【ステージ】

G7各国ゆかりの音楽&被爆ピアノ演奏

【物産展】

G7各国の商品及び県産品の販売

【ブース出展】

SNSフォロワー抽選会、サミットパネル展、折り鶴ワークショップ、クイズ&アンケート
来場者数：イベント全体約3,000人 ブース来場136人



被爆ピアノ演奏



ウェルカムコンサート

(3) カープフェスティバル「鯉祭り」ブース出展&番組内PR等

日 程：令和5年3月26日（日）

会 場：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島

内 容：

【ブース出展】

SNSフォロワー抽選会、モザイクアート写真撮影会、サミットパネル展、折り鶴ワークショップ、クイズ&アンケート

【番組内PR（生放送への出演）】

中国放送特別番組へのPR出演

【場内でのPR】

大型ビジョン映像放映

来場者数：イベント全体22,805人 ブース来場423人



ブース出展

(4) HIROSHIMA GATE PARK FESTA ステージPR及びブース出展

日 程：令和5年3月31日（金）～4月2日（日）（ステージPRは31日、2日のみ）

会 場：ひろしまゲートパークプラザ

内 容：

【ステージPR】

野村謙二郎氏×佐藤寿人氏トークショー、
県内高校生による書道パフォーマンス&トークセッション

【ブース出展】

モザイクアート写真撮影会、サミットパネル展、折り鶴ワークショップ、クイズ&アンケート

来場者数：ステージ観覧850人 ブース来場1,809人



トークショー



書道パフォーマンス

(5) 県民会議期間限定ショップ「UCHIRA」開設

日 程：令和5年3月31日（金）～5月7日（日）

会 場：シメントひろしま

内 容：

【物産展】

広島県産品推薦リスト掲載商品を中心とした特産品販売

【展示】

フォトスポットの設置、サミットパネル展&高校生の取組紹介、
「G7広島サミットを応援する取組」の紹介、県内市町プロモーション動画放映、
県内市町プロモーションパンフレットの配架

来場者数：40,292人



物産展

(6) #HIROSHIMAミライバトン

日 程：令和5年5月4日（木・祝）

会 場：広島広域公園

内 容：

【ステージ】

国内最大規模のドローンショー、プロジェクションマッピング、地元の子供や高校生によるダンスのパフォーマンス等

（ステージイベントの一部を広島テレビ放送株式会社と共催で実施）

【ブース出展】

SNSフォロワー抽選会、モザイクアート写真撮影会、サミットパネル展、折り鶴ワークショップ、クイズ&アンケート

来場者数：ステージ来場11,774人 メタバース参加450人 ブース来場456人



ドローンショー

4 イベントや商業施設等でのPR

G7広島サミット開催の周知や県民等の歓迎機運の醸成等を広く図るため、県民等に向けて、広島県内の企業・団体や市町が開催するイベントにおいて、G7広島サミットをPRするブースを出展した。

(1) 実施期間

令和4年9月22日（木）～令和5年5月5日（金・祝）

(2) 実施内容

G7広島サミットのパネル展示、モザイクアート写真撮影会、折り鶴ワークショップ等を行ったほか、パネルを活用したサミットに関する簡単なクイズやアンケートを実施した。また、イベント参加者へノベルティの配布を行った。

(3) 出展回数

37回

(4) ノベルティの種類及び作成個数

県産木材の端材や間伐材を有効活用した木製しおり (4,000個)

県民会議ロゴ入り折り紙 (7種類 合計9,800枚)

県民会議ロゴ入りウェットティッシュ (10,000個)

広島サミットぬりえ (6,000枚)

その他、スタッフ用ジャンパーやネックストラップを作成し、イベント等で活用した。



ひろしまフードフェスティバル
折り鶴ワークショップ



HIROSHIMA GATE PARK FESTA出展ブース



県民会議ロゴ入り折り紙・
ウェットティッシュ・木製しおり



ネックストラップ・スタッフ用ジャンパー

(5) その他

G7広島サミット開催の周知や県民等の歓迎機運の醸成等を図るため、県民会議事務局の職員が、各種イベントや大学等へ出向き、サミットのPRや県民会議の取組紹介等を行った。

【出展イベント等の実施日程】

NO	日 程	出展イベント名または会場	市町等名
1	令和4年9月22日(木)	ツーリズムEXPOジャパン2022	東京都江東区
2	令和4年10月19日(水)・20日(木)	第10回平和首長会議総会	広島市
3	令和4年10月29日(土)・30日(日)	ひろしまフードフェスティバル	広島市
4	令和4年11月3日(木・祝)	南区安全・安心なまちづくりフェスティバル	広島市
5	令和4年11月3日(木・祝)	市民平和文化イベント	広島市
6	令和4年11月16日(水)	中国新聞レディースクラブSTORY 2022年度 特別講演会	広島市
7	令和4年11月20日(日)	国際フェスタ	広島市
8	令和4年12月11日(日)	ソラミィフェスタ in 12月 広島空港 北海道まつり～冬は広島空港から北海道へ行こう！	三原市
9	令和4年12月14日(水)・15日(木)	ひろぎんホールディングス本社ビル トゥモロウスクエア	広島市
10	令和4年12月17日(土)・18日(日)	紙屋町・基町クリスマスマルシェ	広島市
11	令和5年1月8日(日)	ちゅーピー住宅展示場	広島市
12	令和5年1月21日(土)	安芸地区交流まつり in イオンモール広島府中 ～あき連パン再び!!～ご当地キャラも大集合!!～	府中町
13	令和5年1月22日(日)	天皇杯 第28回全国男子駅伝	広島市
14	令和5年1月28日(土)・29日(日)	第28回 広島輸入車ショー2023	広島市
15	令和5年2月1日(水)・2日(木)	第21回ビジネスフェア中四国2023	広島市
16	令和5年2月5日(日)	B. LEAGUE 広島ドラゴンフライズ対サンロッカーズ渋谷戦	福山市
17	令和5年2月18日(土)	ゆめタウン廿日市	廿日市市
18	令和5年2月25日(土)	ゆめタウン東広島	東広島市
19	令和5年2月26日(日)	令和4年度南防災訓練・防災フェア	広島市
20	令和5年3月4日(土)	ゆめタウン福山	福山市
21	令和5年3月11日(土)	大和ミュージアム	呉市
22	令和5年3月18日(土)	ゆめタウン吉田	安芸高田市
23	令和5年3月18日(土)・19日(日)	第10回広島みなとフェスタ ※	広島市
24	令和5年3月18日(土)・19日(日)	小谷サービスエリア	東広島市
25	令和5年3月21日(火・祝)	G7サミットウェルカムコンサート&物産展 ※	広島市
26	令和5年3月26日(日)	カープフェスティバル「鯉祭り」 ※	広島市
27	令和5年3月31日(金)～4月2日(日)	HIROSHIMA GATE PARK FESTA ※	広島市
28	令和5年4月8日(土)	i-core FUCHU (いこーれ府中)	府中市
29	令和5年4月9日(日)	第7回庄原さくらフェスティバル	庄原市
30	令和5年4月15日(土)	第14回フラワー王国せら高原夢まつり	世羅町
31	令和5年4月21日(金)	プロ野球公式戦 広島カープ VS DeNA	広島市
32	令和5年4月22日(土)	明治安田J1 サンフレッチェ広島 VS FC東京	広島市
33	令和5年4月29日(土・祝)	第80回尾道みなと祭	尾道市
34	令和5年4月30日(日)	安芸太田町神楽協議会設立記念神楽共演大会	安芸太田町
35	令和5年5月3日(水・祝)	道の駅 舞ロードIC千代田	北広島町
36	令和5年5月4日(木・祝)	#HIROSHIMAミライバトン ※	広島市
37	令和5年5月5日(金・祝)	三次もののけミュージアム	三次市

※はプライベート（G7広島サミット直前スペシャルスプリング）事業

5 花を活用したおもてなしの実施

G7広島サミットに向けた県民の歓迎機運醸成及び開催周知のため、事業者や地域団体など県民等の協力を得て、県内の花壇等にガーデンピック、広島市内中心部に歓迎ボードを設置した。

(1) ガーデンピックの制作・配付

県内全域の花壇等に設置してもらうため、県内の間伐材等を活用し、開催を周知する県民会議ロゴ入りガーデンピックを制作し、各市町へ配付した。

配付したガーデンピックには、県内で花壇やプランターなどで花を育てている県民や公園・施設等の管理者、児童・生徒等に、「広島を訪れる方への歓迎メッセージ」、または「G7広島サミットや世界に向けた平和のメッセージ」のどちらかのテーマでメッセージを書き込んでもらい、県内の花壇やプランター等へ設置してもらった。また、設置の様子をホームページやSNS等で発信した。

【制作数】

大サイズ (W300×H270) : 2,540個 小サイズ (W105×H270) : 3,045個



ガーデンピック 大サイズ



ガーデンピック 小サイズ

(2) 花を活用した歓迎ボードの制作・設置

令和5年3月に平和記念公園内に花文字で表現した歓迎ボードを設置し、4月に同ボードの花を広島市内の小学生（希望のあった27校）が育てた花に植え替えた。

【歓迎ボードの概要】

デザイン：「G7HIROSHIMA」を花文字で表現

サイズ：高さ2.6m×全幅21.9m×奥行き1.5m

花苗株数：約1,400株（植替前は広島県産パンジー、植替後は広島県産ペチュニアを使用）

設置場所：平和記念公園内噴水南側

設置期間：令和5年3月29日（水）～5月23日（火）

【植え替え】

日程：令和5年4月27日（木）

参加小学生：広島市立中島小学校児童

小学生育成花苗株数：広島県産ペチュニア1,592株



花を活用した歓迎ボード



小学生が育てた花に植え替えた歓迎ボード



小学生による花の植え替え

6 クリーンアップ運動の促進等

G7広島サミットの開催に当たり、来訪者へのおもてなし機運の醸成を図るため、県民会議の構成団体や、県内の企業・団体等に対して自主的な清掃活動を促進した。

(1) クリーンアップ運動

令和5年4月24日（月）から5月17日（水）までの間、「ここから世界へ、ここから未来へ クリーンアップ運動」と題し、県内において、G7広島サミットに向けた清掃活動実施を呼びかけ、趣旨に賛同した企業・団体・個人が、自主的な清掃活動を実施した（自主的な清掃活動の応募件数：218件）。

その際には、希望する企業・団体等へノベルティ（幟旗及びタスキ）を提供するとともに、清掃の様子を県民会議SNSへ投稿した。

また、4月24日（月）に、広島商工会議所と連携したキックオフイベントとして、県民会議、広島商工会議所ビルのテナントの職員が、広島商工会議所ビルや原爆ドームの周辺を清掃した。



広島商工会議所と連携して実施した清掃活動の様子

(2) 行政事業との連携

広島県環境県民局環境保全課と「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」の参画企業が実施する清掃活動（令和5年2、3月）、きれいなひろしま・まちづくり市民会議（事務局：広島市環境局業務第一課）が実施する「G7広島サミットごみゼロ・クリーンキャンペーン」（令和5年4月）の取組と連携し、県民会議から、参加者へノベルティ（缶バッジ・タスキ・G7広島サミットぬりえ）を提供した。

【参加者数】

令和5年2月12日（日）	元宇品海岸周辺での清掃活動：250人
令和5年3月25日（土）	宮島・包ヶ浦自然公園での清掃活動：144人
令和5年4月16日（日）	元宇品地区での清掃活動：191人
令和5年4月16日（日）	広島みなと公園での清掃活動：283人
令和5年4月16日（日）	平和記念公園での清掃活動：312人

7 通訳案内士及び交通事業者向けの研修の実施

来訪するサミット関係者及び訪日外国人の受入れ態勢を整えるため、通訳案内士及び交通事業者向けの研修を実施した。

(1) 通訳案内士向けの研修

一般社団法人広島県観光連盟が実施する地域通訳案内士フォローアップ研修等と連携し、研修の受講希望者を対象に、オンライン形式等で、県民会議から、G7広島サミットの概要や広島開催の意義について説明した。

ア 地域の魅力発信の強化及び周遊促進の研修

日 程：令和5年1月10日（火）、11日（水）

参加者：計51人（1月10日（火）実施分31人、1月11日（水）実施分20人）

イ 地域通訳案内士フォローアップ研修

日 程：令和5年1月14日（土）

参加者：12人

(2) 交通事業者向けの研修

ア 個別研修

研修の受講希望者（県内のタクシー事業者）を対象に、一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会の講師により、実際の場面を想定した英語表現や、文化や習慣などの違いから注意すべき点について、対面形式の研修を実施した。研修の中で、県民会議が作成した「交通事業者向けオンデマンド配信用動画」を使用した。



交通事業者向けの研修の様子

日 程：令和5年3月17日（金）
 会 場：JMSアステールプラザ
 参加者：21人

イ オンデマンド配信

令和5年3月17日（金）から、G7広島サミットの概要（開催概要、広島開催の意義など）や、案内に役立つ英会話の表現などを動画にまとめ、インターネット上で配信した。

8 電車・バス等へのラッピング

G7広島サミットの開催周知及び歓迎機運の醸成を図るため、路面電車、バス、タクシー、旅客船等にラッピングを行った。路面電車及びバスのラッピングデザインについては、県内の高等学校等にデザインの制作に参画してもらった。

(1) 路面電車

期 間：令和5年2月3日（金）～5月21日（日）
 対象車両：1編成（5両）
 運行会社：広島電鉄株式会社
 そ の 他：お披露目式（出発式）を2月3日（金）に開催した。



山陽女学園中等部・高等部



ノートルダム清心中・高等学校



県立神辺高等学校



県立広島皆実高等学校



広島市立広島みらい創生高等学校



広島市立基町高等学校



ラッピングされた路面電車



お披露目式（出発式）

(2) バス

期 間：令和5年2月17日（金）～5月21日（日）

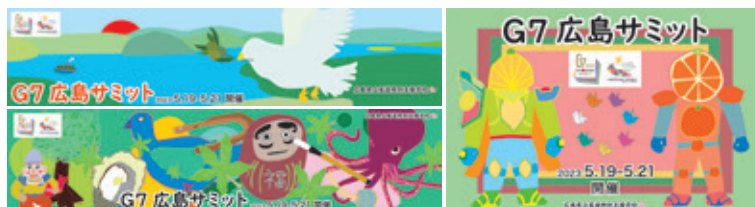
対象車両：7台

運行会社：エイチ・ディー西広島株式会社、芸陽バス株式会社、中国ジェイアールバス株式会社、広島交通株式会社、広島電鉄株式会社、広島バス株式会社、株式会社フォーブル
※五十音順で記載

そ の 他：お披露目式を2月17日（金）に開催した。



県立安芸府中高等学校 (広島電鉄株式会社)



県立尾道特別支援学校 (広島交通株式会社)



県立海田高等学校 (エイチ・ディー西広島株式会社)



県立西条特別支援学校 (芸陽バス株式会社)



県立三次中学校・高等学校 (中国ジェイアールバス株式会社)



県立安西高等学校 (株式会社フォーブル)



広島工業大学高等学校 (広島バス株式会社)



ラッピングされたバス



お披露目式

(3) タクシー

車体をG7広島サミットの開催日程、政府及び県民会議公式ロゴを配置したデザインでラッピングするとともに、車内にはステッカーを貼付した。

期 間：令和5年1月20日（金）～5月21日（日）

【ラッピング】

対象車両：200台

運行会社：有限会社エンゼルキャブ、株式会社カープタクシー、株式会社宝塚かもめタクシー、つばめ交通株式会社、つるみ第一交通有限会社、有限会社ドリーム交通、株式会社NISIKIタクシー、はと第一交通株式会社、広交タクシー株式会社、広島近鉄タクシー株式会社、広島第一交通株式会社、有限会社広三自動車、平和第一交通株式会社、鯉城交通株式会社、鯉城タクシー株式会社 ※五十音順で記載



ラッピングされたタクシー

【ステッカー】

対象車両：約5,000台

運行会社：一般社団法人広島県タクシー協会加盟の県内205社

デザイン：

【ラッピング】



(後ろドア両サイド)



リア（背面）

【ステッカー】



リア（背面）

(4) 旅客船等

船体をG7広島サミット開催日程、政府及び県民会議公式ロゴを配置したデザインでラッピング（タクシー後ろドア両サイドと同デザイン）するとともに、広島港宇品旅客ターミナル内の待合室イスにはステッカー（タクシー車内ステッカーと同デザイン）を貼付した。



ラッピングされた旅客船

【ラッピング】

期 間：令和5年2月9日（木）～5月21日（日）

対象船舶：38隻

運行会社：株式会社アクアネット広島、有限会社金輪島会、上村汽船株式会社、J R西日本宮島フェリー株式会社、瀬戸内シーライン株式会社、瀬戸内海汽船株式会社、瀬戸内海クルーズ株式会社、似島汽船株式会社、有限会社バンカー・サプライ、宮島松大汽船株式会社 ※五十音順で記載

【ステッカー】

期 間：令和5年4月3日（月）～5月21日（日）

貼付脚数：64脚

(5) 高等学校等の生徒の取組を紹介する巡回パネル展

G7広島サミットの開催周知及び歓迎機運醸成を目的として実施したカウントダウンボード製作や電車・バスのラッピングデザイン制作等について、各事業に参加した生徒の経験を同世代の若者をはじめ県内の多くの人々に広く共有するため、各作品のデザインのポイントや事業に関わった思い、各デザインや生徒の写真等を掲載したパネル（合計22枚）を制作し、県内市町で巡回パネル展を開催した。 ※展示実績は次ページのとおり。

【展示実績】

期 間	市町	会 場
令和5年 3月25日(土)～3月31日(金)	大竹市	ゆめタウン大竹
3月27日(月)～3月30日(木)	竹原市	竹原市役所
3月27日(月)～4月2日(日)	三次市	ショッピングセンターサングリーン
3月31日(金)～4月7日(金)	三原市	ラフラフ(三原市児童館)
3月31日(金)～5月7日(日)	広島市	県民会議期間限定ショップ「UCHIRA」(シメントひろしま)
4月1日(土)～4月9日(日)	廿日市市	ゆめタウン廿日市
4月3日(月)～4月7日(金)	神石高原町	道の駅さんわ182ステーション
4月8日(土)～4月13日(木)	府中市	i-core FUCHU(いこーれ府中)
4月9日(日)	庄原市	第7回庄原さくらフェスティバル
4月11日(火)～4月14日(金)	庄原市	庄原市役所
4月12日(水)～4月16日(日)	府中町	イオンモール広島府中
4月14日(金)～4月20日(木)	尾道市	尾道市役所
4月15日(土)	世羅町	第14回フラワー王国せら高原夢まつり(せら夢公園)
4月17日(月)～4月23日(日)	熊野町	熊野町役場
4月19日(水)～4月23日(日)	世羅町	せら文化センター
4月20日(木)～4月25日(火)	福山市	福山市役所
4月24日(月)～4月28日(金)	安芸高田市	ゆめタウン吉田
4月24日(月)～4月30日(日)	坂町	Sunstar Hall(サンスターホール)
4月26日(水)～4月30日(日)	福山市	ゆめタウン福山
4月30日(日)	安芸太田町	安芸太田町神楽協議会設立記念神楽共演大会(戸河内ふれあいセンター)
5月1日(月)～5月7日(日)	呉市	ゆめタウン呉
5月1日(月)～5月11日(木)	安芸太田町	安芸太田町役場
5月1日(月)～5月11日(木)	東広島市	ゆめタウン東広島
5月8日(月)～5月14日(日)	江田島市	ゆめタウン江田島
5月12日(金)～5月22日(月)	北広島町	北広島町まちづくりセンター
5月12日(金)～5月22日(月)	大崎上島町	大崎上島町役場
5月15日(月)～5月22日(月)	海田町	海田町福祉センター



府中町（イオンモール広島府中）



尾道市（尾道市役所）



世羅町（せら文化センター）



安芸太田町（安芸太田町役場）



北広島町（北広島町まちづくりセンター）

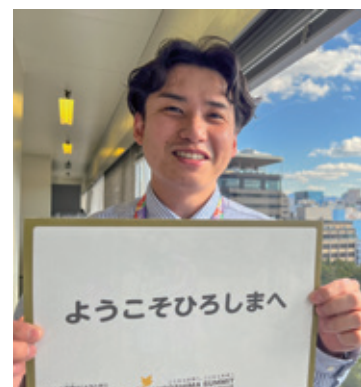
9 モザイクアートの制作（Smile for Peace Project）

G7広島サミットで広島を訪れる首脳等に対する県民の歓迎の気持ちや平和を願う思いを伝えるため、株式会社中国新聞社との共催事業として、歓迎・平和のメッセージを記載したボードを持った写真を募集し、モザイクアートを制作した。モザイクアートは、新聞広告として掲出したほか、パネルにしてG7各国の在京大使館等への贈呈や広島情報センターでの展示を行った。

（1）写真の募集

ア 募集方法

株式会社中国新聞社が運営する子供向けのウェブサイト「ぶんタッチ」内の応募フォーム及び県民会議主催のイベントや出展ブース等による募集



写真の例

イ 募集写真

G7広島サミットで広島を訪れる各国首脳や報道関係者等への歓迎の気持ちや平和を願う思いをメッセージボードに掲げた写真（「広島らしさ」「広島の魅力」「平和のメッセージ」が伝わる写真に、歓迎のメッセージを加工して加えた画像も可）（例：「折り鶴」「ハト」「広島風景」「家族や友人との団らん」など）

ウ 募集期間

令和4年11月19日（土）～令和5年4月2日（日）

（2）新聞広告等での掲出・展示

【新聞広告】

区分	第1弾	第2弾
掲載日・媒体	令和5年2月8日（水） 中国新聞朝刊	令和5年5月12日（金） 中国新聞朝刊
題材	 <p>・背景：瀬戸内の多島美 ・時間帯：夜明け ・手から飛び立とうとする「折り鶴」により平和の思いを表現</p>	 <p>・背景：瀬戸内の多島美（第1弾の背景とつながる） ・時間帯：日中 ・G7各国をイメージした折り鶴が広島から羽ばたき、平和の思いを広げていく様子を表現</p>
写真枚数	3,024枚	6,237枚

【新聞広告以外での掲出・展示】

- ・「ぶんタッチ」内（応募フォームから応募の写真のうち、承諾を得たものを掲出）
- ・県民会議主催イベント等
- ・商工会議所ビル1階への掲出
- ・広島情報センターでの展示

展示期間：令和5年5月18日（木）～22日（月）

展示場所：ワーキングスペース入り口付近

（3）パネルの贈呈

2月の新聞広告掲出分をA3サイズにパネル化し、G7各国の在京大使館及び駐日欧州連合（EU）代表部へ贈呈した。



パネル

10 歓迎バナー等の設置

G7広島サミット開催を周知し、地元の歓迎機運を高めるとともに、各国首脳及び関係者等へ歓迎の意を表するため、広島県庁、広島市役所本庁舎、広島市内の各区役所へ大型看板や懸垂幕を設置したほか、交通量の多い道路や交通結節点付近及び首脳会合の会場付近に、歓迎バナー等を設置した。

(1) 大型看板

設置場所：広島県庁

設置数：1基

設置期間：令和5年1月16日（月）～5月23日（火）
（3月29日（水）～4月10日（月）の間一時撤去）



大型看板（広島県庁）

(2) 懸垂幕

設置場所：広島県庁、広島市役所本庁舎、広島市内の各区役所

設置数：10枚

設置期間：広島県庁、広島市内の各区役所：令和5年1月23日（月）～5月23日（火）
広島市役所本庁舎：令和5年4月3日（月）～5月23日（火）



懸垂幕（中区役所）



懸垂幕（安佐北区役所）

(3) アーケード幕

設置場所：本通・金座街

設置数：3枚

設置期間：令和5年3月30日（木）～5月22日（月）



アーケード幕（本通）

(4) 吊り下げバナー

設置場所：紙屋町シャレオ南北通り

設置数：48枚

設置期間：令和5年4月22日（土）～5月23日（火）



吊り下げバナー（紙屋町シャレオ）

(5) 街路灯バナー（広島市内道路ほか）

設置場所	設置数	設置期間
空港通り	56枚	令和5年3月23日（木）～5月23日（火）
二葉通り	30枚	令和5年3月23日（木）～5月23日（火）
鯉城・城南通り	78枚	令和5年3月25日（土）～5月24日（水）
元宇品臨港線	56枚	令和5年3月27日（月）～5月23日（火）
平和大通り	63枚	令和5年3月27日（月）～5月24日（水）
広島空港内搭乗橋	18枚	令和5年4月1日（土）～5月23日（火）



街路灯バナー（鯉城通り）



街路灯バナー（元宇品臨港線）

第4章 / 平和の発信

1 サミットフォーラム（平和発信）の開催

中高生に自分事として平和への興味・関心を深め、未来に向けて戦争や平和について考えてもらうため、「G7広島サミットユースフォーラム」を開催した。

(1) 日程

令和5年2月26日（日）

1回目：13時00分～14時15分

2回目：15時30分～16時45分

(2) 会場

広島国際会議場フェニックスホール

(3) 実施内容

【名称】

G7広島サミットユースフォーラム

綾瀬はるかと考えてみよう～平和のこと、未来のこと～

【次第】

・開会挨拶

県民会議副会長 広島市長 松井一實 ※1回目のみ

・綾瀬はるかさん（俳優）の戦取材の紹介

・田中稔子さん（被爆者）を交えた登壇者によるトーク

・県内高校生の活動紹介

1回目 広島市立舟入高等学校（演劇部による原爆劇）

2回目 県立安芸府中高等学校（「原爆の子 さだ子の願い」の英語紙芝居）

【主な内容】

多くの被爆者の体験に耳を傾けてきた俳優の綾瀬はるかさん、被爆者の田中稔子さん、県内高校生を登壇者に迎え、参加者の県内中高生の前で、登壇者からそれぞれの視点で、平和や未来への思い等が語られた。

(4) 参加者

県内の中学校・高等学校及びそれに相当する学校に在学する生徒：計1,075人



フォーラムチラシ



県立安芸府中等学校による「原爆の子 さだ子の願い」の英語紙芝居の紹介

2 被爆楽器を活用した演奏会

核兵器のない平和な世界を希求する「ヒロシマの心」を世界に発信するため、言語の壁を越えて思いを伝えることのできる音楽を、原爆の惨禍をくぐりぬけた被爆楽器で演奏した。

(1) 在京大使館等（G7各国）先遣隊歓迎レセプション

日 程：令和5年2月8日（水）

被爆楽器：バイオリン

内 容：日本を除くG7各国の大使館関係者等に対し、広島交響楽団メンバーによる被爆バイオリンを使用した弦楽四重奏の演奏を行った。

参加者数：23人

(2) G7サミットウェルカムコンサート&物産展

日 程：令和5年3月21日（火・祝）

被爆楽器：ピアノ（明子さんのピアノ）

内 容：紙屋町シャレオ中央イベント広場にて、被爆ピアノである「明子さんのピアノ」を使用した学生などによる演奏を行うとともに、「明子さんのピアノ」の歴史を解説するパネルの展示を行った。

来場者数：約3,000人（コンサート・物産展の来場者総数）



在京大使館等（G7各国）
先遣隊歓迎レセプション



G7サミットウェルカム
コンサート&物産展

3 海外メディアを通じた平和発信

(1) 海外メディア招へい

G7サミット開催地として注目が集まる機会を捉え、G7広島サミット参加国の主要紙に働きかけを行い、人類史上最初の被爆都市である広島から被爆の実相や広島の復興、そして核兵器のない平和な世界の実現に向けたメッセージを発信した。

実施に当たり、対象メディアに対してG7広島サミット前に広島取材してもらうよう提案し、主に平和に関するコンテンツで個別の取材を行った。取材先については、被爆体験講話、広島平和記念資料館見学、首長インタビューを中心に、記者が興味のある分野のコンテンツを記者へ提案し決定した。

招へいメディア：4か国4社5人（フランス、米国、英国、ドイツ）

取材先：湯崎知事インタビュー、松井広島市長インタビュー、被爆体験講話（広島市）、広島平和記念資料館（広島市）、被爆体験伝承者インタビュー（広島市）、被爆遺構等を巡るサイクリングツアー・ウォーキングツアー（広島市）、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内（広島市）、PEACE PARK TOUR VR（広島市）、広島電鉄株式会社（広島市）、中国新聞ジュニアライター（広島市）、株式会社広島銀行（広島市）、お好み焼・鉄板焼ちんちくりん（広島市）、グランドプリンスホテル広島（広島市）、大和ミュージアム（呉市）、株式会社三宅本店（呉市）、盛川酒造株式会社（呉市）



PEACE PARK TOUR VRを取材する
フランスメディア



広島平和記念資料館を取材する
英国メディア

(2) その他海外メディアへの協力

海外メディア等の要望に基づき、被爆の実相等に関する取材協力を行い、世界に平和都市広島を発信した。

取材協力した海外メディア：8か国10社17人（米国、ドイツ、イタリア、カナダ、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、スロバキア）

取材先：湯崎知事インタビュー、松井広島市長インタビュー、広島市国際化推進課、被爆体験講話（広島市）、広島平和記念資料館（広島市）、被爆体験伝承者インタビュー（広島市）、被爆遺構等を巡るサイクリングツアー（広島市）、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内（広島市）、広島女学院中学高等学校（広島市）、広島カナダ協会（広島市）、広島市立基町高等学校（広島市）、G7広島サミットユースフォーラム（広島市）、お好み焼みっちゃん総本店（広島市）



被爆遺構等を巡るサイクリングツアー
を取材する海外メディア



ユースピースボランティアによる平和記念
公園の案内の様子を取材する海外メディア

4 被爆の実相・復興の歴史の発信

国内外の報道関係者に、被爆の実相への理解を深め、核兵器の非人道性を深く心に刻んでもらうとともに、広島の復興の歴史や未来へ向けた平和に関する取組なども周知し、被爆の実相や核兵器のない平和な世界を希求する「ヒロシマの心」を広く国内外に発信してもらうため、IMC内に開設された広島情報センターで被爆の実相を伝える展示等を行った。

(1) 実施期間

令和5年5月18日（木）10時00分～22日（月）12時00分

(2) 場所

IMC内広島情報センター平和関連ブース（総合体育館スポーツ情報センター）

(3) 内容

「被爆」「復興」「未来へ」の3つのテーマで展示を行ったほか、同ブース内で被爆体験講話を計3回実施した。

(4) 来場者数

延べ4,017人

(5) 被爆体験講話の参加者数等

ア 山本定男氏：25人

海外メディア等の参加者数：イタリア3人（2社）、バングラデシュ1人（1社）、スウェーデン1人（1社）、フランス1人（1社）

イ 近藤康子氏：45人

海外メディア等の参加者数：英国15人（メディア数は不明）、イタリア3人（メディア数は不明）、カザフスタン1人（1社）、メキシコ1人（1社）、アルゼンチン1人（1社）、トルコ1人（1社）

※冒頭に、松井広島市長から参加者に対して平和取材等の呼びかけを行った。

ウ 岸田弘子氏：14人

海外メディア等の参加者数：フランス1人（1社）、ドイツ3人（1社）、マレーシア2人（1社）、クック諸島1人（1社）



展示入口



被爆体験講話での松井広島市長による
平和取材等の呼びかけ

5 各国首脳等による平和記念公園訪問の実施支援

G7広島サミットの公式行事である各国首脳等による平和記念公園訪問について、外務省をはじめとした関係各所との調整など、行事の円滑な実施を支援した。

(1) 立入規制等の周知

G7広島サミット開催期間中の平和記念公園の立入規制等について、全国の旅行代理店等への周知に加え、旅行の出発点等（東京駅等）でのポスター掲示等により旅行者に周知を行った。

(2) 行事の実施支援

行事の設営作業等を担当する外務省や事業者に対し、必要な手続の案内やその補助、担当部署への取次などを行ったほか、行事当日の原爆死没者慰霊碑における碑文の説明や献花の介添えに係る調整、記念植樹の手配など、実施の支援を行った。

【行事实績】

令和5年5月19日（金）

G7首脳による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花、植樹

令和5年5月19日（金）

G7首脳配偶者による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花

令和5年5月21日（日）

招待国首脳・国際機関の長による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花

令和5年5月21日（日）

招待国首脳配偶者による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花

令和5年5月21日（日）

ゼレンスキー・ウクライナ大統領による広島平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花



原爆死没者慰霊碑参拝・献花の介添え



植樹の介添え